

私の提言

太田博雄 東北工業大学 ライフデザイン学部教授

1947年生まれ。70年東北大学文学部卒業。78年東北工業大学講師。84年同大学助教授を経て、94年より現職。95年博士号(大阪大学)、トゥルク大学(フィンランド)客員研究員、ワシントン大学(アメリカ)客員研究員。98年～99年トゥルク大学客員教授。研究分野は交通心理学。日本交通心理学会、国際交通安全学会、日本心理学会などに所属。

高齢ドライバーに運転の自己評価技能を身につけてもらうことが必要



太田さんは(社)日本自動車工業会の高齢者交通安全教育推進委員会の委員として、高齢ドライバー向けの交通安全教育プログラム「いきいき運転講座」の開発に携わった。太田さんが監修した交通安全トレーニングの科目の1つ「自分の運転を振り返る」(1面参照)は、ミラーリングという手法が応用されている。

ミラーリング法はフィンランドで考案された交通安全教育の方法で、日本における「他人の振り見て、我が振り直せ」の考え方に通じる。太田さんは10年前に共同研究のためにフィンランドに滞在した際、副題に「上から押しつけない、教え込みでない教育の方法」とあるミラーリング法に出会い、日本に紹介した。

「フィンランドの方法は参加者が事前

に自分の運転を評価してから、トレーナーが速度超過とシートベルト着用の実態をデータで提示して、参加者同士で話し合っ

て終わるという内容でした。随分と簡単なトレーニングで本場に効果があるのかと思いましたが、その後、参加者が速度を落としたり、シートベルト着用率が上がるという効果が確認されました。私はこの時のトレーナーの役割に着目

しました。客観的な情報の提供と聴き役に徹し、教え込むことはしていませんでした。

自分の姿を外から眺め、自分の姿を正しく評価

日本に取り入れるにあたっては改良が加えられた。参加者に提示するデータをビデオ映像にして、内容も一時停止の場面などに変えたのである。また、他人の運転の映像だけでなく、参加者自身の運転の映像を見せるという「我が身振り見て、我が振り直せ」のバージョンもつくった。「いきいき運転講座」では、より多くの人に普及するという観点から、本来の「他人の振り見て」の方式を採用した。

「フィンランドでは1980年代にクルマがスリップした時に態勢を立て直

す技能トレーニングをしたら、かえって事故が増えたことがありました。トレーニングによって、自分のスキルが実際よりもレベルアップしたと過信して事故につながったようです。ここから自分の姿を正しく評価する能力―自己評価技能が必要であるという考え方が出てきて、ミラーリング法が開発されました。「いきいき運転講座」に取り入れたねらいも、参加した高齢ドライバーが他人の運転する姿を見て、自己評価技能を身につけることにあります。

「いきいき運転講座」で自己評価技能を養成

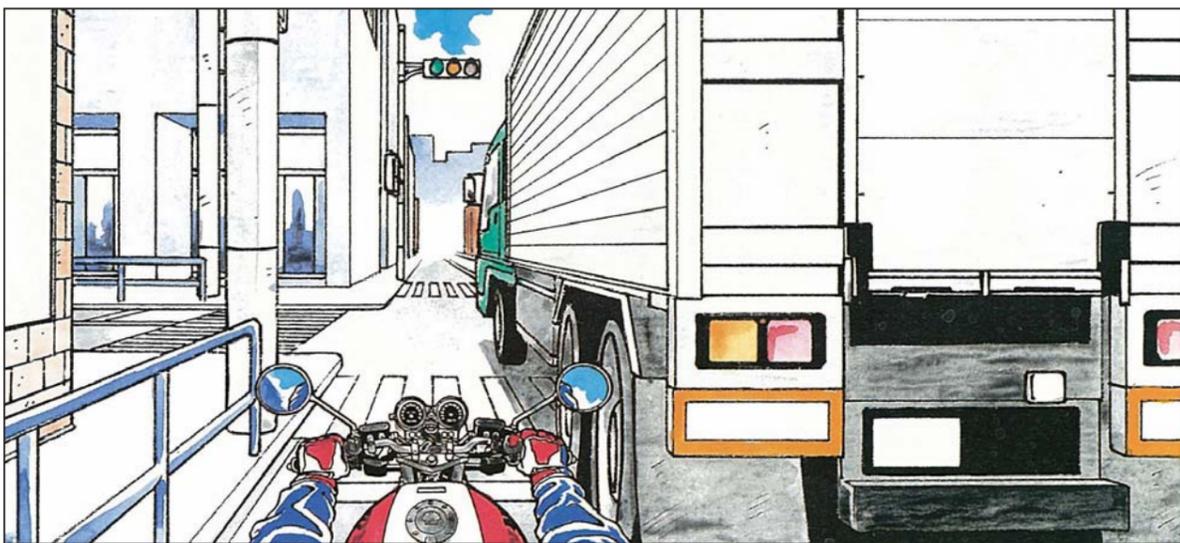
日常の運転行動で難しいのはカットになった時、あせった時、安全行動を保つために自己コントロールできるかである。これには、運転している自分と第三者として見ている自分を想定することが必要になる。「自分を外から眺める力がある」ということは、自分の運転適性を管理できるということになります。

ミラーリング法のもう一つの特徴に、自己評価を指導者が主導するのではなく、話し合いのなかで自分の姿を振り返り、自ら気づいていくという参加型の手法がある。「いきいき運転講座」では、話し合いの進行役も参加者の中から選ぶ。「この教材の画期的なところは、誰でも話し合いの進行役ができるようにシナリオを作成したこと」です。専門家でない方ができるのかという疑問も当然あり、検証も行いました。一通りやってみると、それなりに参加者は自己評価ができていました。「いきいき運転講座」は高齢ドライバーに自己評価技能を身につけてもらうための有効な教材だと、太田さんは話す。

危険予測トレーニング(KYT) ―危険感受性を育てる

第⑤回 先行右折トラックがいる時(二輪車)

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を育てるための題材を提供します。今回は二輪車のライダーに、トラックの脇を通過する際の危険を考えてもらうためのKYTです。企業/団体などでのグループ教育の学習の中で活用してください。



あなたは青信号の交差点にさしかかっています。前方のトラックは交差点で右折するようです。このような場面では、どんなことに注意しますか？

Q1 どのような危険がありますか？

- ①トラックはあなたの進路をじゃませず右折する
- ②前方のトラックが右折をやめ、急に直進して、あなたの進路が狭くなる
- ③トラックのかげに、右折しようとしている対向車がいる

Q2 どんな運転をすればいいでしょうか？

- ①トラックの動きに注意して走り、横を通過したら少し加速する
- ②トラックの左脇から、できるだけ早く交差点を通過するために加速する
- ③右折してくるクルマを予測しておき、右折車が出てきてもすぐに止まれるスピードで走る

正解を1つ、または2つ選んでください

活用方法

- ① 少人数のグループをつくります。
- ② 「交通場面のイラスト」を見ながら、Q1、Q2について意見を出し合います。
- ③ その後、「解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すればいいか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト(カラー・A4版)」は下記SJのホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード(無料)できます。

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業(株) 安全運転普及本部
TEL: 03 (5412) 1736



今回のKYTの題材は、Hondaの危険予測トレーニング教材「交通状況を鋭く読む〜危険予測トレーニング(二輪車用)」から抜粋しています。詳細については以下ホームページ参照。

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/kyt/training/>